

科目名称	臨床整復学
授業コード	BH412
英語名称	Clinical theory of reposition by Judo 8
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	渡會 公治, 戸部 悠紀
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	柔道整復師は医療人の一員であり、開業権を有しており、免許取得後、開業する者も一定数いることから、柔道整復師が業務を行うに当たり、対象となる運動器疾患が業務範囲にあるかどうかを適切に判断し、柔道整復術を適切に実施できる能力を身に付けることが必要となる。また、安全に柔道整復術を提供するため、医用画像を理解するためのカリキュラムを追加するとされた。 教科書の後半、医用画像の理解を中心に画像になれることをめざす。
科目に関連する実務経験と授業への活用	医用画像を理解するためのカリキュラムのなかで渡會は45年の整形外科医師としての経験から、X線画像、CT,MRIについて解説講義する。また、適宜、柔道整復師が医療現場及び地域医療の現場に立ってどのように行動管理するか、やってはいけないことは何か。この知識を教授する。 戸部は柔道整復師の立場として医療者の一員としてスポーツ外傷の救護現場に参加してその中で柔道整復師の立場を教授する。画像診断としては超音波について講義する
到達目標	柔道整復師が医療現場及び地域医療の現場に立ってどのように行動管理するか、やってはいけないことは何かを理解する。安全に柔道整復術を提供するため、医用画像を理解するためのカリキュラムを理解する。
計画・内容	【第1回】(渡會・戸部) ガイダンス 授業内容と方針の説明(オリエンテーション) 【第2回】(渡會) なぜ画像診断を学ぶのか? 絵を描くのか? 【第3回】(渡會) X線の基礎知識 【第4回】(渡會) CTの基礎知識 【第5回】(渡會) MRIの基礎知識 【第6回】(渡會) 核医学の基礎知識 【第7回】(渡會) 身体各部位の画像 【第8回】(渡會) 身体各部位の画像 【第9回】(戸部) 超音波画像の基礎知識 【第10回】(戸部) 超音波画像の実際 【第11回】(戸部) 超音波画像の実際 【第12回】(戸部) 超音波画像の実際 【第13回】(戸部) 超音波画像の実際 【第14回】(戸部) 接骨院で注意すべき損傷 【第15回】(渡會)(戸部) まとめ(理解度の確認、総括)
授業の進め方	渡會の授業では、当日のテーマに関する質問をWebclasで予め提示し、教科書、インターネットの情報を紹介しながら行う。意見、感想、疑問を求める。発言の機会がない学生のいるため、全員の意見、感想、疑問をリスパンスシートに毎回、記述する。次回の授業の中で討議する。主体的に参加することを求める。随時小テストを実施する 教科書を中心に進め、当日の復習で大事な箇所をまとめる。 画像で大事なものは身体各部位の解剖学的イメージである。そのために、絵を描く技術が求められる。基本の直線を描く、立方体を描く、球を描くことを行う

能動的な学びの実施	意見、感想、疑問をレスポンスシートに毎回、記述する。次回の授業の中で討議する。主体的に参加することを求める。
授業時間外の学修	予習・復習を計60時間以上行うこと（テーマについて、一時間程度は各自教科書を見て、インターネットで情報を調べ自分の講義ノートを整理すること）
教科書・参考書	施術の適応と医用画像の理解
成績評価方法と基準	期末テスト40% レスポンスシート、小テスト $15 \times 4 = 60$ 60%
課題等に対するフィードバック	小テスト、リアクションペーパーは次の時間にフィードバックを行う
オフィスアワー	campus square 参照
留意事項	他の授業「職業倫理及び関係法規、整形外科」とも関連する
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 webclassとの併用で授業を進める。 成績評価と基準 課題20%テスト80%で評価する。